

東京医学社「新生児診療マニュアル 第6版」正誤表

371 頁 『光線療法・交換輸血の適応基準（神戸大学, 1991)』において、誤りがありましたので訂正致します。

光線療法・交換輸血の適応基準(神戸大学, 1991)

I. 総ビリルビン濃度による基準(単位 mg/dL)								
出生体重(g)	～24 時間		～48 時間		～72 時間		～96 時間	
	光線療法	交換輸血	光線療法	交換輸血	光線療法	交換輸血	光線療法	交換輸血
～999	5	8	6	10	6	12	8	12
1,000～1,499	6	10	8	12	8	15	10	15
1,500～2,499	8	10	10	15	12	18	15	20
2,500～	10	12	12	18	16	20	18	22

I. 総ビリルビン濃度による基準(単位 mg/dL)				
出生体重(g)	～120 時間		5 日～	
	光線療法	交換輸血	光線療法	交換輸血
～999	8	15	10	15
1,000～1,499	10	18	12	18
1,500～2,499	15	20	15	20
2,500～	18	25	18	25

II. アンバウンドビリルビン濃度による基準		
出生体重(g)	光線療法(μg/dL)	交換輸血(μg/dL)
～1,499	0.3	0.8
1,500～	0.6	1.0

注：TB 値, UB 値いずれかが基準値を超えたら、治療を開始する。

正期産児ではビリルビンアルブミン比 7 mg/g 以上